登坂板から外し、脱輪

地面の水平を確認し
登坂板から外さないように注意しましょう

2018年度版

■ 物損事故報告　（第一報）　△01

□ ヒヤリ事故報告

□ クレーム報告

部長	部門長	安全担当	事業部門担当	作成
塚上	―	伊藤	川橋	山田

発信日：2018年　4月　27日

発信事業所：中部物流部

発信部門：運輸チーム

WA380トレーラ自動歩み板からの荷卸し時脱輪事故

1．発生日時　　2018年　4月26日(木)　8時45分頃　　天候：晴れ

2．発生場所　　コマツカスタマーサポート　東京カンパニー東京支店（東扇島）

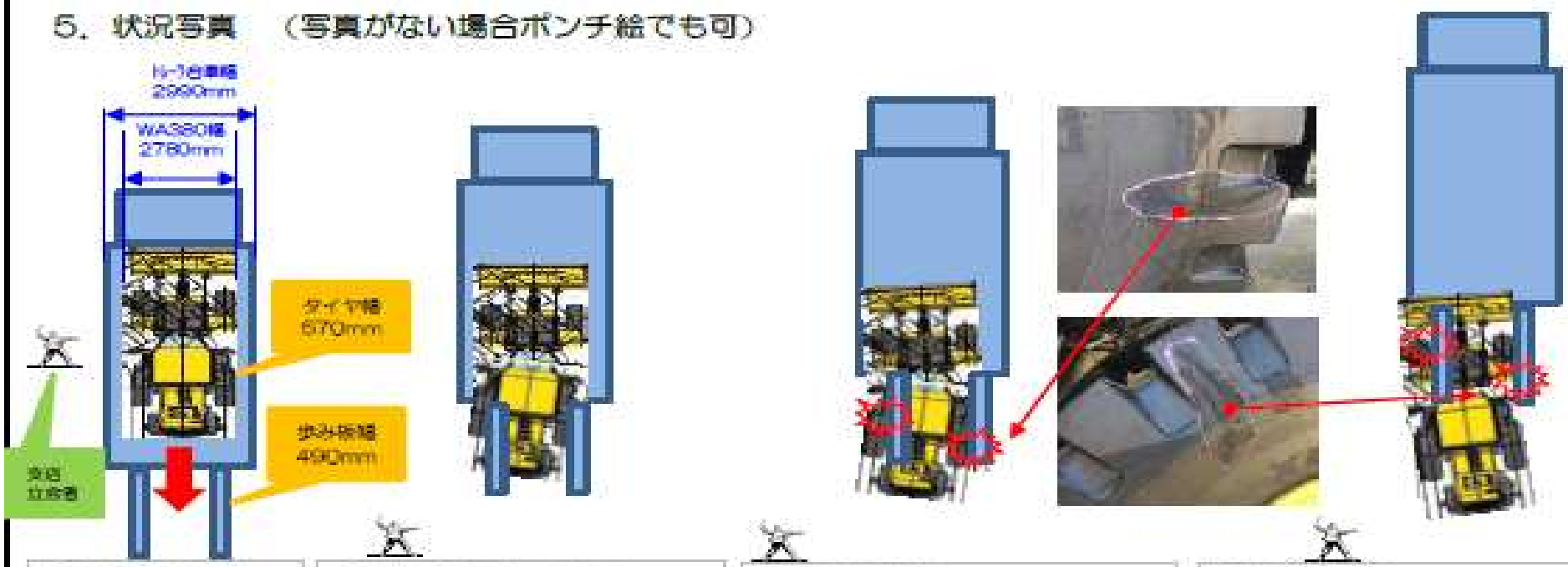
3．事故当事者　　所属：○○運輸株式会社　　職種：ドライバー
年齢：39歳　　勤続年数：6ヶ月　　経験年数：6ヶ月
免許取得・技能講習受講後：　7ヶ月経過（車両系建設機械技能講習）
社員区分：■正規社員　□期間社員　□派遣社員　□その他（　）

4．事故概要
（5W1Hで記入）

作業名：トレーラからの建機荷卸し作業
作　業・安全標準書の有無：■　有　□　無

4/25(水)　16:00　栗津工場にてWA380を積載し出発
4/26(木)　02:00　コマツカスタマーサポート東京カンパニー東京支店（東扇島）周辺に到着し待機
4/26(木)　08:35　コマツカスタマーサポート東京カンパニー東京支店（東扇島）到着
受付後、荷卸し準備実施。受取り担当が立会いに来る
4/26(木)　08:43　荷卸し開始。WAバック動作に入った際、立会い者がWA左側で誘導をしてくれた為合図を見ながらバックする。
4/26(木)　08:44　トレーラ台車から自動歩み板に差し掛かった際に、車体が左に曲がっている感覚があったが、立会い者より引き続きバックするよう合図があった為、バック動作を続けたところ右後輪及び左後輪が脱輪し、気が動転し無意識にハンドルを右に切って、バックした為、右前輪・左前輪も脱輪した

5．状況写真　（写真がない場合ポンチ絵でも可）



①荷卸し開始
車体左側で立会い者が誘導

②後輪が歩み板に掛かる
建機が斜めになっている感覚はあったが、誘導者がバック動作を止める合図をしなかった為、そのままバックした

③右後輪が脱輪
誘導の合図に従ってバック動作を続けたところ、右後輪と左後輪が歩み板から脱輪した

④右前輪が脱輪
右後輪が脱輪した事で気が動転し無意識にハンドルを右に切りバックした為、右前輪と左前輪も脱輪した

6．事故の原因

- 支店立会い者が後方誘導してくれていた為、WA荷卸し標準の「ドライバーは歩板手前で一度降車してタイヤと歩板の位置合わせをする」を実施しなかった
- 車体が左に寄っている感覚はあったが、誘導から軌道修正の合図がなかったので、そのまま荷卸しを続けた（誘導を過信した）
- 誘導員が車体左側で誘導していた為、体を左に捻り後方を確認しながらバックした為、ハンドル操作が不安定となった（通常WAバック荷卸しは右に体を捻り後方を確認しながら荷卸しを実施する）
- ドライバーと支店立会い者の意思の疎通が無かった
（誘導をする・しないの打合せが無いまま、荷卸しを始めた）